

和地ひとみレポート No.367

今までと大きく変わった「令和3年度予算編成方針」
“真に必要な…”

という文言が多く使われた緊張感のある内容



■来年度の予算編成方針

…10月5日、尾崎市長から市の各部課長にあてて「令和3年度予算編成方針」が出されました。例年、この時期に出される翌年度の予算編成方針ですが、今年度の内容はこれまでの予算編成方針と大きく変化していました。その理由は、多くの方が察している通り、新型コロナウイルス感染症の影響による財政状況の悪化に関連するものですが、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで先送りしていた課題解決の必要性が高まったことや、前例踏襲で疑問を持たなかったことに対する見直しなどという“大きな改善”ともいえる内容も多くみられました。

■国の予算編成は

…東大和市の予算編成には国や東京都からの交付金や補助金も大きく影響しますが、国や東京都においては、新型コロナウイルス感染症の財政に与える影響については不透明な部分が多く、例年以上にその予算編成の先行きを見通すことが難しい状況のようです。

…国においては、予算の概算要求については政令を改正し、例年より要求期限を1か月遅らせた9月30日とするとともに、概算要求の段階では予算額を決定せず、その仕組みや手続きをできる限り簡素なものにすることをしています。

…また、国の概算要求の具体的な方針では、感染症の感染拡大を防止し、事業と雇用を守り抜くため、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応が喫緊の課題であるとしている一方で、現時点では予算編成において、来年度を予見することには限界があるともしています。

…そのような中、9月30日に令和3年度予算編成の概算要求を締め切った結果、国の各省庁から出た要求総額は105兆4,071億円となり、今年度予算の要求総額104兆9,998億円を4,073億円上回り、3年連続で過去最大となっています。多くの省庁が新型コロナウイルス対策費として、現時点で明確な金額を示していない「事項要求」も出しており、年末に決まる一般会計予算案の歳出総額はさらに膨らむ見込みともいわれています。特に厚生労働省の要求額は32.9兆円と過去最大で、新型コロナウイルスの支援策対応であることがわかります。

…また、多くの省庁の要求の中で「ウィズコロナの生活様式に対応していくために」や、「ポストコロナを見据えて」、そして「新しい日常」という言葉を使っていることから、来年度の国の補助金や助成金については、これらに関わるものが多くなる可能性が高くなることが予想できます。

■東京都の予算編成は

…尾崎市長から出される毎年の予算編成方針には、東京都の予算編成方針の概要も書かれています。昨年度の予算編成方針の中に書かれていた東京都の予算編成方針では「東京2020大会を推進力とし、東京が成熟都市として新たな進化を遂げ、成長を生み続けられるよう、未来に向けた道筋を力強く歩む予算」とするという、明るい未来に向けた大きな方向性が示されていました。今年度の東京都の予算編成方針（＝令和3年度予算編成方針）でも「未来の東京」の実現に向けた予算とされているものの、やはり、大きな課題とされているのは新型コロナウイルス感染症対策のさらなる強化と新型コロナウイルスを乗り越えたその先を見据えた東京の構造改革を進めるなど、新しい社会を作り上げていくための取組みを推進することも重要であるとされ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた内容となっていました。

【東京都の予算編成について】

東京都の令和3年度予算は、財政環境の先行きを見通すことが困難な中、これまで培った財政対応力を最大限発揮し、新しい「未来の東京」の実現に向けて、都政に課せられた使命を確実に果たしていく予算として

第一に、新型コロナウイルス感染症との闘いを乗り越えるとともに、「新しい日常」や「持続可能な都市・東京」の実現に向けて、戦略的な取組を果敢に進めていくこと。

第二に、社会変革に適応したデジタル化による都民サービスの向上など、都政の構造改革を進めるとともに、ワイズ・スペンディングの視点により無駄を一層無くし、健全な財政基盤を堅持すること。

第三に、東京2020大会を都民・国民の理解を得られる安全かつ持続可能な大会として実施し、次世代へレガシーを継承していくことを基本として編成している。

…さらに、今までは財政調整基金が潤沢だったことを受けてか、東京都の予算編成方針では「ワイズ・スペンディング（賢い支出）」といった考え方を示す言葉は明記されていましたが、削減率のような具体的な数字はあまり見かけませんでした。しかし、令和3年度予算編成においては、「自律的経費（各局の創意工夫を促すという観点から、経常的・定型的な事業や経費について、各局の責任の下で自主的・自律的に検証を行える経費）については、分析、検証を通じた見直し、再構築を行い、各局の責任において規模、単価等の積算根拠を十分に精査したうえで、原則として令和2年度予算額に対して10%減の範囲内で過去の決算等を踏まえて所要額を見積もること」という一文が明記されていました。（裏面に続く）

■東大和市の予算編成方針は

…今までの予算編成方針と今回示された「令和3年度予算編成」は大きく内容が変わっていると前述しましたが、東大和市の予算編成方針については、その項目なども下記のように大きく変わっていました。

【東大和市の令和2年度予算編成方針の内容】

- (1) 東大和市の財政状況
(平成30年度地方財政状況調査等による決算状況)
- (2) 令和2年度予算の編成に向けて
- (3) 令和2年度の重要施策等
- (4) 予算編成方針における重要事項
 - ① 全般的事項
 - ② 歳入予算の見積もりと歳入確保の取組
 - ③ 歳出予算の見積もりと歳出縮減の取組
 - ④ 特別会計予算
 - ⑤ 公営企業会計予算

【東大和市の令和3年度予算編成方針の内容】

- (1) 予算編成の重要事項
 - ① 重視する考え方
 - ② 重要施策等
- (2) 予算見積もりの考え方
 - ① 全般的事項
 - ② 歳入予算
 - ③ 歳出予算
 - ④ 特別会計予算
 - ⑤ 公営企業会計予算

…昨年度までの予算編成方針は、上記の通りの内容でしたが、財政状況については決算から分かった概要が書かれているだけで、重要施策についても第四次基本計画で掲げた目標が列記されているだけというものでした。年度ごとの予算は基本計画や実施計画に沿って組まれることは当然のことですが、毎年の予算編成方針を読んで感じたことは「上位計画に沿って予算を組むので、特段、変わることはない」というような、形式的に方針をしめているだけ？という印象を受けましたが、今回出された「令和3年度予算編成方針」の内容は、市がどのようなことを考え、先行きを見据えたうえで、来年度の行財政を運営していくのかということがわかるもので、各段に良い内容になっていると感じました。

■新たな項目から見えてくること

…上記のとおり「令和3年度予算編成方針」では、今までにない項目が明記されています。中でも、私が注目した項目は「(1)予算編成の重要事項:①重視する考え方」と「(2)予算見積もりの考え方:①全般的事項」です。私が決算監査で監査委員として伝えた意見も考慮して下さっているような内容でもあり、今回の予算編成方針からは、市の改革を進める本気度と気合のようなものを感じました。

(1)予算編成の重要事項:①重視する考え方

◆今後も新型コロナウイルス感染症への対応を進めていくとともに感染拡大を防止するための「新しい生活様式・日常の定着」の実践を前提として、これまで実施してきた事業の内容や実施方法を精査したうえで事業を実施すること。

◆「東大和市行政改革大綱」に基づき、市民サービスの向上や効果的・効率的な行財政運営の観点から、行政改革に取り組むとともに、持続可能な行財政運営のために、民間活力の導入の推進、歳入の確保、歳出の縮減等に取り組むこと。特に令和2年度に実施している業務分析等支援業務の分析結果等を活用して、事務事業の見直し、事務の効率化、ICT化の推進等に取り組むこと。これらの事務事業の見直し等の効果として、職員の働き方改革につながることを理解して進めること。

◆「新しい生活様式・日常の定着」への対応や、事務の効率化等を図るため、国や東京都の動向に留意して、庁内のデジタル化について積極的な検討を進めること。

◆「東大和市公共施設等総合管理計画」に基づき、中長期的な視点による老朽化対策や維持・更新に係る財政負担の平準化など、公共施設等の最適化の実現に向けて取り組むこと。

◆開かれた市政の実現のため、施策の形成や課題の対応に当たっては、情報公開の推進と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得ること。

(2)予算見積もりの考え方:①全般的事項

◆実施する主要事業については「東大和市実施計画」に計上された主要事業を基礎とするが、事業の必要性、効果、実施時期等を改めて検討し、**真に必要な事業**を計上すること。

◆事業の実施に当たっては、制度や目的、内容等を改めて精査し、事業の必要性、効果等を検証し、**真に必要な事業**を計上すること。

◆予算の見積もりに当たっては、決算や執行状況を検証し、積算根拠について十分精査し、**真に必要な経費**を見積もること。

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、国や東京都の予算編成日程が遅れることが見込まれることから、令和3年度予算の編成にあたっては、例年以上に情報収集に努め、その把握には十分留意すること。

■あるべき姿を組織風土に

…行政は市民にとって“真に必要な”事業を最大限効率的、効果的に運営するのが正しい姿です。前例を変更したことで瞬間的には苦情や不満が出るかもしれませんが、長期的な視点で理由をしっかりと説明できる形であれば、市民の理解は得られると思います。…今回の予算編成方針で示された行財政運営の姿勢や考え方を、これを機に組織風土にまで落とし込み、浸透させてほしいと思いました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102